

ば雇主は自己の製品に對して労働組合の組合證券を使用する事が出来、其結果製品の販賣高が増加すると添言してゐる。

(五) クローズド・ショップの價值

思ふにクローズド・ショップは労働者が其の團結權の行使を完全に遂行せんとする政策である。そして労働組合が労働者の當然の正當機關で其の階級解放に必要なものであるならば、其れを運用するに際して妨害になるあらゆる障害物は除去せられなければならない。即ち、團結權のコロラリーたる集合契約は完成せられねばならない。しかるに其れを困難ならしむる非労働組合員の存在するは不都合である。其れのみならず、非労働組合員の存在するは、労働組合の規定する労働條件を破壊する結果を來すから、労働組合が之に反するは敢て無理でない。況んや労働組合が雇主と相争ふ場合には此等の組織のない労働者は意識的若くは無意識的に罷業破りの醜態を演じる事となるから、平時に於て労働組合がかかる階級的裏切り者に對する反感の強烈なるはよしや其れが餘りに感情的である非難はあるが、正當なる點であると思はれる。

労働者が労働組合なる自助的機關に依つて、其の階級的解放運動を進展するにつれて、從來の如き資本家專制の産業制度を打破し労働條件の決定に際して集合契約を以てせんとし、其の手段としてクローズド・ショップを要求する事は極めて正當の事であらう。其れが雇主に取って何等の利益を齎らさないとしても之れを否定する必